

[標準様式例 7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	R 2 関東管内小規模河川氾濫推定業務（その 2）
業 務 概 要	本業務は、流域治水におけるリスク情報空白域解消へ向けた取り組みの推進のため、富士川水系の一級河川の支川等の小規模河川について、氾濫形態が流下型氾濫の河川を対象に、氾濫解析を実施し、氾濫推定範囲と浸水深の算定を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 若林 伸幸 埼玉県さいたま市中央区新都心 2 番地 1
契 約 年 月 日	令和 3 年 1 1 月 1 1 日
契 約 業 者 名	株式会社エイト日本技術開発
契 約 業 者 の 住 所	東京都中野区本町五丁目 3 3 番 1 1 号
契 約 金 額	¥ 1 9, 9 8 7, 0 0 0 円（税込み）
予 定 価 格	¥ 1 9, 9 8 7, 0 0 0 円（税込み）
随意契約によることとした理由	本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、業務実施方法及び手法、特定テーマに対する提案などを含めた技術提案を求め、簡易公募型（拡大型）プロポーザル方式により選定を行った。 株式会社エイト日本技術開発は、技術提案書をふまえ当該業務を実施するのに適切と認められたため、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	関東地方整備局管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 （ 自 ）	令和 3 年 1 1 月 1 2 日
履 行 期 間 （ 至 ）	令和 4 年 3 月 3 1 日
備 考	会計法 2 9 条の 3 第 4 項 予決令第 1 0 2 条の 4 第 3 号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。